

2015

The 2nd Congress of The JSCAD in Tokyo

CADCAMオールセラミックの 長期予知性を考える

—— レジン界面やインプラント応用などにおける検討 ——

第2回 一般社団法人 日本臨床歯科CAD/CAM学会 学術大会

CAD/CAMオールセラミックにおける長期的生存率は、その他の修復物に比較しても高いことが多くの文献から示唆される。しかし、接着の界面や歯肉縁下のビルドアップなどセラミックをサポートしているCRレジンの劣化や細菌の付着性などについて明確なエビデンスは存在しない。またインプラント上部構造への応用についても近年適用され始めたばかりであり、長期的な検証は行われていない。高い生体親和性を持つマテリアルであるが、それをどのように安全に適用するべきか、多くのディスカッションをしていきたい。

会長 草間幸夫 / 大会長 下田孝義

開催日

2015年12月5日 [土]・6日 [日]

会員発表・特別講演・基調講演・懇親会 他

※講演者等未定（決まり次第ホームページで発表いたします）

会場

富士ソフト アキバプラザ

東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフト秋葉原ビル
JR秋葉原駅下車 徒歩3分



Japanese
Society of
Computer
Aided
Dentistry